

中部農林高校相撲部 地元開催に奮起、 県勢で24年ぶりに決勝進出 堂々の全国準V！

平成22年度全国高等学校総合体育大会が、7月28日に県総合運動公園陸上競技場で行われた総合開会式で幕を明けました。市内では8月2日から4日の3日間、相撲競技が具志川ドームで、7月31日から8月7日の間、与那城陸上競技場や具志川多種目球技場など市内6会場を含む全8会場でサッカー競技が行われました。両競技とも全国の代表選手が熱い戦いを繰り広げました。

相撲競技の団体戦では、沖縄県代表として地元中部農林高校が出場し、県勢では24年ぶりに決勝へ進出。善戦の末、惜しくも敗れたものの堂々の全国準優勝という成績を収めました。選手達の気魄のこもった戦いが多くの市民に感動を与えました。



力強く選手宣誓を行った中部農林高校3年の山本浩太選手



具志川ドームで行われた相撲競技開会式の様子



全国準Vを成し遂げ、土俵中央で記念撮影する中部農林高校の選手たち



準決勝、2勝2敗の五分で迎えた大一番。大將と那覇海斗選手の上手投げで決勝進出を決める



中農の勝利に、立ち上がって喜ぶ地元応援団

高校生一人一役活動で大会を支える



大会前の準備や大会期間中の役員など、多くの高校生が一人一役活動で大会運営に参加し、様々な場面で活躍しました。



全国55チームの頂点に立った市立船橋の選手たち



沖縄代表、那覇西高校（赤のユニフォーム）2回戦の対瀬戸内戦、ゴール前で競り合う様子

熱戦が繰り広げられたサッカー競技延長戦を制し、市立船橋（千葉）が見事栄冠を手に入れた